「Science Based Targets (SBT) 策定セミナー」 資料

キリングループのCSVコミットメントと環境への取り組み

- 配布用 -

KIRIN

2017年9月5日

キリン株式会社 CSV戦略部 是安 亘



会社概要

商号	キリンホールディングス株式会社
創業	1907年(明治40年)2月23日 ※2007年7月1日持株会社化に伴い「麒麟麦酒株式会社」より商号変更
本社所在地	〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
資本金·従業員	102,045百万円 39,733人 (2016年12月末現在)

日本綜合飲料事業

> キリン(株)

- ・キリンビール
- ・キリンビバレッジ
- ・メルシャン



及びグループ会社各社

海外綜合飲料事業

- ▶ライオン(オセアニア)
- ▶キリンホールディングス シンガポール
- ・ミャンマー・ブルワリー(ミャンマー)
- ・インターフード(ベトナム) 他
- ▶サンミゲルビール(フィリピン)
- ▶華潤麒麟飲料(中国) etc…

医薬・バイオケミカル事業他

- ▶ 協和発酵キリン
- ▶ 協和発酵バイオ
- ▶ 小岩井乳業

etc...





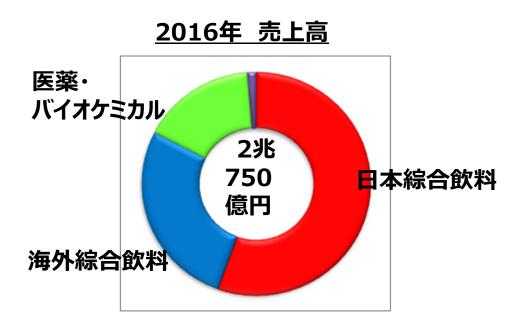




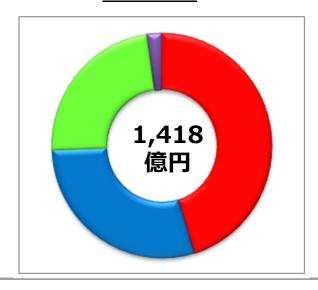


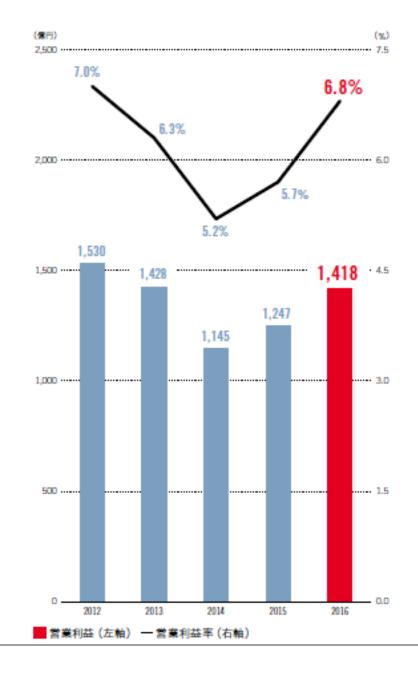
業績 -バランスのとれた事業構成-

キリングループの 連結業績推移



営業利益





キリングループ 私たちのCSVストーリー

キリングループは、 「健康」「地域社会」「環境」という 3つの社会課題に取り組み、お客様と共に 幸せな未来をめざしていきます。

キリングループの創業は1907年。ビールという新しい飲みもので事業をスタートし、新しい生活文化を創造してきました。当時まだ身近でなかったビールを1本1本瓶に詰めて家庭まで届けることで、お客様の幸せを広げてきたのです。その後、事業領域を酒類、飲料、食品、そしてビールの発酵・培養技術を進化させた先進医薬へと広げ、活動の場も日本から世界に展開してきました。大切にしてきたのは、食と健康の領域で、技術に立脚した品質本位のものづくりを通じて、人々の健康で心豊かな生活に貢献すること。そして、誰よりも情熱をもって真摯に、お客様に寄りそい一緒になって幸せな未来をめざしていくこと。これがキリンの理念です。

一方、この100年以上の歴史の中でも今、私たちを取り巻く環境は大きく変わってきました。生活習慣病などの健康問題、医療費の高騰、高齢化、人と人とのつながりの希薄化、経済格差が進み、地球温暖化や自然破壊が深刻さを増しています。私たちは、こうした社会問題の解決に主体的に取り組むことでお客様の幸せに貢献したいと考えています。グループの強みを活かして社会課題に取り組むことが、発想の転換や創意工夫を促し、イノベーションを生み出します。そうすることで、キリンの組織能力が向上し、お客様にとっての価値を持続的に提供できるのです。これがCSV(社会と共有できる価値の創造)という私たちが最も大切にしている経営の方針です。

私たちは、お酒を扱う企業としてまずアルコール関連問題の解決に取り組んでいます。 お酒はお客様の心豊かな生活に貢献する一方で、一部では飲酒が健康を損なっていることも 事実だからです。その上で私たちは、とくに事業と関係が深い「健康」「地域社会」「環境」の 3つの社会課題に全力で取り組みます。未来につづく美しい環境を有する地球を土台として、 豊かで活気あふれる地域社会の中で、一人ひとりが心も身体も健やかであることが、幸せな 毎日につながると考えているからです。



人々の健康への貢献はキリングループの理念そのものです。</u>安全・安心はもちろん、 美味しさを楽しみながらセルフケアできる飲料・食品の開発や、グループに医薬事業を擁する 強みを活かした新たな商品やサービスの創出を通じて、お客様の心と体の健康に貢献します。 医薬事業では、最先端のバイオテクノロジーによって、クオリティ・オブ・ライフの向上に貢献する 新薬の開発を推進します。

お酒をはじめとした飲みものは人と人とのコミュニケーションを円滑にし、絆を深めます。 その前提になるのは生活の基盤となる、豊かで活気あふれる地域社会の存在です。</u>私たちは 地域の人たちが誇りに思い、一体感を高める商品やサービスの提供をめざします。また、地域 を元気にする事業やプロジェクトに参画したり、原料の生産者が抱える問題の解決に共に取り 組むなど、サプライチェーンや地域社会との関わりの中で、さまざまなコミュニティの活性化に 貢献していきます。

次世代に美しい地球を残すことはすべての人々の願いです。水や農産物など自然の 恵みを利用する私たちにとっても、地球環境の持続可能性は事業継続の前提であり、容器 包装や地球温暖化対応などのバリューチェーンでの環境負荷低減は経営基盤の強化にも つながります。キリングループは2013年に発表した「長期環境ビジョン」のもと、2050年の資源 循環100%社会の実現をめざす取り組みを、多くのステークホルダーと協力して進めています。

私たちは、誰よりも情熱をもって真摯にお客様のことを考えながら、「健康」「地域社会」「環境」という3つの社会課題に取り組み、人々が豊かな地域社会のなかで自然の恵みを享受し健康に過ごせる幸せな未来をめざします。その想いを従業員全員が共有し、日々の仕事の中で発想の転換や創意工夫をしながらワクワクする価値をお客様と共に創ることで、キリングループは未来にわたって成長し続けます。

3



© Kirin Company, Limited

社会課題への取り組みを通じた価値創造

Creating Shared Value

「(企業が社会と) 共有できる価値の創造」

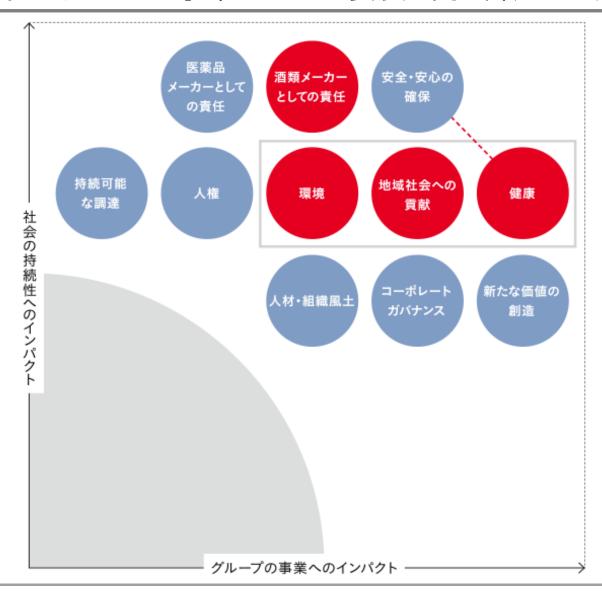
「社会課題への取組みによる社会的価値の創造」と、 「経済的価値の創造」の両立により 企業の成長を実現させる経営コンセプト

*2011年にハーバード大学経営大学院のM・E・ポーター教授が提唱



キリングループが取り組む重点課題

社会の持続性と キリングループの事業にとって重要度の高い課題を選定。



CSVコミットメント 要旨

- 中核事業と関連が深い「健康」「地域社会への貢献」「環境」をCSV重点課題に設定。これらの領域で社会課題に主体的に取り組んでイノベーションを生み出し、持続的成長を具現化していく
- ◆ 大前提としてアルコール関連問題にも取り組み、酒類メーカーの責任を果たす。

テーマ、主な社会課題



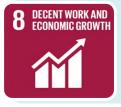
酒類メーカーとしての責任

• アルコールの有害摂取



健康

- 生活習慣病の増加、医療費の増大
- 食の安全・安心への脅威 ほか



地域社会への貢献

- 地域経済・社会の衰退
- 原料生産者の持続可能性



環境

地球温暖化、水資源や生態系の危機、 容器包装による環境負荷拡大

目指すべき成果(例)

- グループ横断の啓発プログラム整備
- ノン・低アルコール商品の拡充 ほか
- ●健康・未病領域の新たな商品、サービス、事業の立ち上げほか
- 地域の人々と一緒につくった商品・ サービスの拡大
- 生産者支援による地域活性化 ほか
- 再生可能エネルギー比率向上による 温室効果ガスのさらなる削減
- 認証原材料の使用拡大 ほか

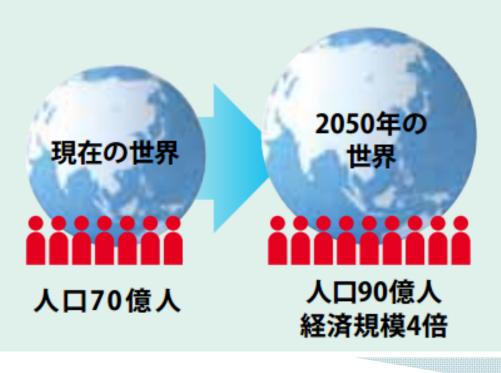


© Kirin Company, Limited

6

キリングループ長期環境ビジョン ~策定の背景~

このまま対策を取らない場合の、2050年の地球



農地面積の拡大 水需要の増大 資源・エネルギー需要の拡大 温室効果ガス排出量の増大



原生林面積

13%減

増加する人口の食生活を支えるた め農地は拡大し、豊かな生物多様 性を持つ原生林面積が減少。※2



年間資源採取

3倍以上

新興国や発展途上国が今のヨー ロッパ並みの消費水準となり、世 界の資源採取が増加。※4



水不足に苦しむ

世界人口の割合 40%以上

世界の水需要の増加に伴い、水 不足に苦しむ世界人口がますま



温室効果ガス 排出量

50%增

エネルギー関連のCO2排出量が主 な要因となり、世界の温室効果ガ ス排出量の全体が約1.5倍に。※2

出典

WWF(2012) Living Planet Report 2012 OECD(2012) Environmental Outlook to 2050

FAO(2009) Issues briefs; How to feed the world in 2050

UNEP(2011) Decoupling natural resource use and environmental impacts from economic growth



キリングループ長期環境ビジョン

目指すべき 方向性

資源循環100%社会の実現

キリングループのバリューチェーンから発生する環境負荷を低減させながら、地球が賄うことができる能力とのバランスが取れるように資源を循環させていきます。

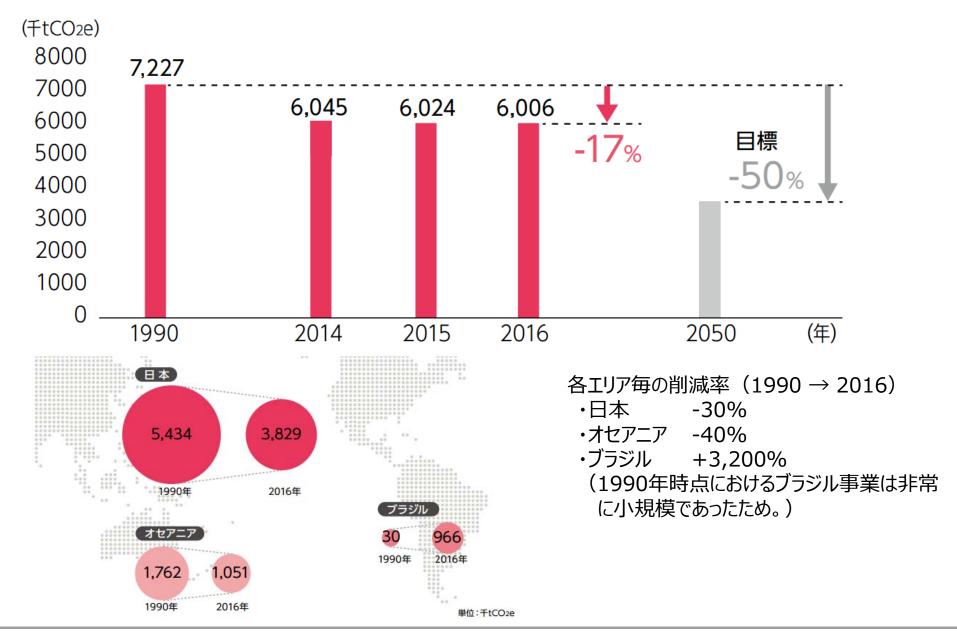


取り組みの姿勢

NGOや企業コンソーシアムとも連携し、広くステークホルダーと コミュニケーションを取りながら、役割をShareして活動を展開します。

地球温暖化対応の進捗状況

バリューチェーンGHG排出量の推移(スコープ1・2・3の合計)



長期ビジョンから中期目標へ

長期ビジョンというゴールが示されていることで、 様々な環境取り組みへの背景が明確になっている。

一方

- ゴールが遠く、アクションに繋がりにくい
- ▶ 最新の社会環境や世界情勢が反映されている訳ではない
 - ESGに対する社会的関心の急速な高まり
 - SDGsへの対応
- ➤ CSVコミットメントとしての中期目標策定の必要性

SBT※に準じたGHG削減中期目標の設定

※ SBTイニシアチブは、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑えるため、科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量削減目標の策定と その達成を推進するために、CDP、国連ぐグローバルコンパクト、WRI、WWFの4団体が2015年に共同で設立した組織です。



CSVコミットメント(抜粋)



コミットメント

再生可能エネルギーの導入をはじめとした更なる温室効果ガス (GHG)排出量削減の取り組みを進めます。

成果指標

SBTによるGHG削減中期目標の達成に向けた取り組みの実施再生可能エネルギー比率の向上(2017年に定量目標を設定)



SBT設定にあたって

- キリングループでは、2030年に向けたGHG中期削減目標を策定し、これが2017年3月に日本の食品・飲料業界で初めてSBT(科学的知見に基づいたGHG削減目標)としてSBTイニシアチブに承認された。
- SBTは従来の取り組みの延長線上では達成が困難な、非常にハードルの高い目標の設定を要求されるため、目標設定の段階から強力な推進体制を構築することが重要。

<SBT認証フロー>

コミットメントレター提出

中期削減目標設定

目標提出

承認

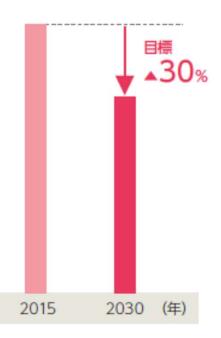
- ·SBTの設定を宣言
- ・SBTに準じた目標設定
- ・内容審査(2ヶ月以上)
- コミットメントレター サイトで公開されているひな形に必要事項を記入、メールで送信。
- 目標設定 サイトで公開されているツールを使用し、目標を設定。(ッールの使用は絶対条件ではない)
- 目標提出(レター提出から24か月以内)完成した目標をメールで送信。その後返信される質問に回答し、結果を待つ。

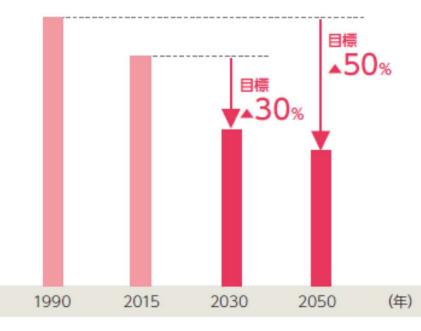


SBT達成に向けての取り組み

- 本年SBTとして承認されたキリングループのGHG中期削減目標の達成に向け、ロードマップを作成し、施策を計画的・精力的にとり進めていく。
- 最初の具体的な取り組みとして、発電時にCO2を排出しない水力発電電源(東京電力エナ ジーパートナー「アクアプレミアム」)を食品・飲料業界ではじめて採用した。

企業活動などで直接排出する GHG排出量と削減目標 (スコープ1と2の合計) バリューチェーン全体でのGHG 排出量と削減目標 (スコープ1と2と3の合計) 再生可能エネルギーとして、水力発電の電力を採用(2017年4月~) (国内飲料事業における電力使用量の約14%に相当)







キリングループ **私たちのCSVストーリー**

キリングループは、 「健康」「地域社会」「環境」という 3つの社会課題に取り組み、お客様と共に 幸せな未来をめざしていきます。



私たちは、誰よりも情熱をもって真摯にお客様のことを考えながら、「健康」「地域社会」「環境」という3つの社会課題に取り組み、人々が豊かな地域社会のなかで自然の恵みを享受し健康に過ごせる幸せな未来をめざします。その想いを従業員全員が共有し、日々の仕事の中で発想の転換や創意工夫をしながらワクワクする価値をお客様と共に創ることで、キリングループは未来にわたって成長し続けます。





© Kirin Company, Limited

ご静聴ありがとうございました。

KIRIN

「飲みもの」を進化させることで、

「みんなの日常」をあたらしくしていく。







キリンホールディングス ウェブサイト キリングループのCSV キリングループ長期環境ビジョン http://www.kirinholdings.co.jp/

http://www.kirinholdings.co.jp/csv/

http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/report/vision.html